

## ウクライナ戦争。毎日情報更新。第107日

**外交政策** 欧州議会の政治グループリーダーはEU加盟国の元首に対し、6月23日 - 24日にブリュッセルで行われるEUサミットにウクライナ、モルドバとジョージアにEUの加盟国の有力候補国のステータスを与えるように呼びかけました。しかし、欧州と欧州大西洋統合副首相のオリハ・ステファニシナ氏は特に指定せずに、それに反対している三か国(EU加盟国)があると述べました。一方、ステファニシナ氏によれば、この三か国でも6月のEUサミットで「反対」と投票するのは難しいでしょう。Bloombergの情報では、欧州委員会の最終的な肯定的な判断でも、公式に候補国のステータスをウクライナに与えられる前、加盟国の確定が必要とされます。

リトアニアのセイマスは、ウクライナの勝利と領土保全の完全な復元を支援することを誓約する決議を承認しました。議院はロシアがウクライナとの戦争を無条件に終結させ、占領軍を撤退させ、ウクライナの領土保全が復元するまで、ロシアとベラルーシに対する制裁を緩和することを検討しないよう要請します。

**食糧安全保障** ウクライナのゼレンスキ大統領はOECD閣僚理事会と話し合い、FAO(国際連合食糧農業機関)からロシアを除外するよう呼びかけました。ゼレンスキ大統領はもう一度、穀物輸出用の黒海の海上航路の封鎖に関するロシアの役割からしては、現在の食糧危機のモスクワの悪影響を主張しました。水曜日、Time100Galaイベントのスピーチ中に世界は「恐ろしい食糧危機に瀕している」と警告しました。

クレムリンは、ウクライナの黒海ルートでの穀物輸出に関してはトルコと合意に達することができなかったと言っています。トルコは、黒海の港で立ち往生している穀物の安全な通過を交渉することにより、世界的な食糧危機を緩和するため、ロシアとウクライナの間で合意を推進してきましたが、その努力は抵抗に遭っています。ウクライナはロシアが不当な条件を押し付けると言い、クレムリンは貨物船の出荷が制裁の終了に依存していると言っています。

ウクライナとその西側の同盟国は、ロシアの最新の攻撃を中和するのに苦労しています。モスクワは、世界的な食糧危機を引き起こしている黒海の封鎖における無実の党として自分自身を描写しています。POLITICOの報告によりますと、ラブロフはアンカラへの訪問を利用して、「ロシア連邦は船や船の通過を妨げるものを何も作成していません...私たちは何も封鎖していません」と誤った主張をしました。

**攻撃を受けている都市** ルハンシク州のセベロドネツクの戦いは続いています。ロシア軍は「アイスパレス」という大きなスポーツ施設を破壊しました。「アイスパレス」は有名なスポーツ施設で同期約5000人がスポーツイベントに参加できました。「Azot」のアンモニア製造でもう一つの砲撃が記録されました。ドネツク州で、1日中にアパート、農場、工業企業、線路、鉄道駅を含む17の民間施設が損傷しました。哈尔キウとムィコラーイウ州で定期的な砲撃が記録されています。ロシア軍はスミー州の国境の村でドローンから手榴弾を落とします。ドニプロペトロウシク州では、ロシア軍がヘルソン州に隣接する3つのコミュニティを砲撃しました。もう一つの攻撃がドニプロ市で記録されました。

**占領を受けている都市** マリウポリでロシア占領者は、捕虜されたウクライナによる領土の「地雷除去」を検討しています。ウクライナ保安庁によれば、ロシア軍は捕虜されたウクライナ人を地雷原に解放することを考えています。そういう「地雷除去」は「自然な方法での地雷除去」と呼ばれています。損傷した建物の解体も進行中です。侵入者は損傷した家屋を取り壊し、瓦礫の下から死者の遺体を探すことを拒否しています。侵略者はマリウポリの年金受給者にロシアルーブルの年金を提供し始めました。

マリウポリ市でコレラのアウトブレイク(感染爆発)の可能性が高いです。コレラの孤立した症例が5月から報告されています。ウクライナは1995年に大規模なコレラの流行に見舞われました。それ以来、特にマリウポリを含むアゾフ海沿

岸で軽微な発生がありました。マリウポリの医療サービスはすでに崩壊に近づいています。

一時的に占領された領土の人々は抵抗し続けます。占領地の住民は、占領された地域のルーブル地帯に入りに反対し続けています。その結果、ロシア人はウクライナ南部でグリブナを使用することを余儀なくされています。ヘルソン鉄道局の職員のほとんどは、ロシア軍との協力を拒否しました。同様の事件は、鉄道員が協力をボイコットしたザポリージャ州のメリトポリで記録されています。その結果、ロシア軍はロシアからの労働者を一時的に占領された領土に連れて行こうとしています。ヘルソンの中小企業は占領者をボイコットしました。欧州安全保障協力機構（OSCE）の米国大使であるマイケル・カーペンターは、ロシアが占領したヘルソン州を「クレムリンの恐怖の研究所」と呼びました。モスクワは、違法な投獄、親戚の誘拐の脅迫、賄賂を含む恐喝の戦術を使って、地元の政治家や活動家を募集しようしていました。

**人権侵害** 占領下のベルジャンスク市、ザポリッジヤ州では、占領者が工ホバの証人教会の活動を禁止しました。禁止の理由は、この教会の活動がロシアでも禁止されているからです。この事実は、ウクライナとロシア連邦の違いを改めて強調しています。ウクライナは法律上でも事実上でもすべて宗教的信念を含めすべての個人自由を尊敬する世俗的な国ですが、一方、全体主義と不寛容はロシアで繁栄しています。

**戦争犯罪** 欧州委員会は外交政策措置に基づい国際刑事裁判所の捜査能力を725マンユーロで支援する新規プロジェクトを開始しました。ウクライナにおけるロシアが犯した捜査中の戦争犯罪に応じて、捜査能力を拡大することに役立ちます。欧州委員会の同法担当官、ディディイエ・レインデルスが次のように発言しています。「明らかなことは、ウクライナで犯された残虐行為の責任者は裁判にかけられることを確実にするため、世界的な対応が必要です。国際刑事裁判所と厳密に協力し、戦争犯罪の加害者に免責がないことを確保します」。

**経済安全保障** ロシアのウクライナ侵略は、世界中に影響を及ぼす危機生活費の発生影響を強くさせられるとOECDが報告しています。今年、世界GDP成長率はおよそ3%まで急に低速し、2023年度も同じペースの傾向にあります。食糧やエネルギーの過激な価格の高騰することにより引き起こされるインフレ率上昇は、低所得者の困難の原因となり、世界の最貧困国に深刻な食糧安全保障上のリスクを向上させられます。

**制裁** ウクライナ大統領は、ロシアのプーチン大統領とその報道官のペスコフが対象になった制裁の法令をサインしました。合計では、ロシア人の260名、236のロシア企業が対象になりました。想定された措置は、資産凍結、輸出入禁止の面で取引制限、資本流出の防止、土地の取得禁止などが含まれます。

**サイバーセキュリティ** ウクライナでの戦争の開始から、スターリンクはウクライナに衛星インターネットへのアクセスを提供し始め、ウクライナでスターリンクサービスをアクティブにしました。昨日、「スターリンクウクライナ」はオペレーターの免許証を受け取りました。ウクライナデジタル変革大臣ミハイロフェドロフは、SpaceX駐在員事務所が間もなくウクライナで活発な活動を開始すると発表しました。

ロシアのラジオ局がハッキングされウクライナ国歌と反戦歌が流れました。ワシントンポスト紙によれば、水曜日、ロシアのラジオ局のニュース速報は、ウクライナの歌によって中断されました。ロシアのメディアは、明らかに反戦ハッカーの標的にされているという最新の例です。

**最新の世論調査** CASEウクライナ社会経済研究センターの依頼で行われたキーウ市国際社会学機関の世論調査によると、戦争は進行中の場合は、ウクライナ人の42.9%だけが子どもの将来をウクライナにあるように計画を立てています。女性は男性よりもわずかに高い安全要件を持っています。休戦の場合、男性の57.1%は子どもや孫の将来の計画はウクライナに立てることに賛成していることに比べて、女性は52.7%だけが同感しています。進行中の戦争の場合、34.8%

の東の地域の住民が子どもや孫の将来の計画をウクライナに立てるそうです。同感しているのは、南部の38,8%の住民、中部は44,6%、西は48,5%です。

**植民地主義** ロシアのウラジーミル・プーチン大統領は、皇帝の生誕350周年を記念して、ピョートル大帝に敬意を表しました。ピョートル大帝と同じくロシアの土地を取り戻すという歴史的な使命を持っていると言つて、彼らの間に類似点を描きました。「ピョートル大帝は21年間大北方戦争を繰り広げました。彼はスウェーデンと戦争をしていたようで、スウェーデンから何かを奪ったと見えます。彼はスウェーデンから何も奪いませんでした。彼はロシアのものを取り戻しました。」とプーチンは木曜日に皇帝に捧げられた展示会を訪れた後に言いました。プーチンは、ウクライナには本当の国民的アイデンティティや国家の伝統がないと主張する歴史の見方を提唱することによって、ウクライナでのロシアの行動を正当化しようと繰り返し努めてきました。

**ウォッチリスト** 「パラダイスストリートの拷問キャンプ」。2017年、ウクライナのジャーナリストのスタニスラフ・アセエフは、ウクライナ東部のドネツクの分離主義地域で働いていました。自称『ドネツィク人民共和国』に批判的で、彼は自分の身元を保護するために仮名を使用しました。ある日、スタニスラフは暴露され、悪名高い「アイソレーション」という刑務所での投獄と拷問につながりました。

#### 読書コーナー

- [Ukraine's partisans are hitting Russian soldiers behind their own lines | The Economist.](#)

ウクライナの占領下地域の地下運動は、ロシアの占領者は歓迎されない印象を強くもたらします。抵抗運動の非公式な首都のメルトポリ市、ヘルソン州、イジュム市などでは抵抗活動が何回も記録されました。命の危険に直面することにもかかわらず、占領下地域でも抵抗活動のチャンスを逃さないようにしています。

- [UkraineX: How Elon Musk's space satellites changed the war on the ground - POLITICO](#)
- [From the Graveside to the Front, Ukrainians Tell of Grim Endurance - The New York Times \(nytimes.com\)](#)

#### 総計情報

- 更新された国連の情報によれば、ヨーロッパでは480万人のウクライナ難民が記録されています。ヨーロッパでは合計320万人のウクライナ人が一時的な保護プログラムに登録しています。ほとんどのウクライナ難民は隣接するポーランドに住んでおり、ルーマニアが2番目になっています。3番目に大きなホスト国はドイツです。チエコ共和国、イタリア、スペインもウクライナ避難人が多いです。
- ウクライナの310のコミュニティは、軍事作戦の領域になっているか、一時的に占領されておりか、囲まれています（ロックされています）
- ウクライナ国家統計局によれば、2022年の第1四半期のウクライナのGDPは、前の四半期と比較して19.3%（季節調整済み）減少し、2021年の第1四半期と比較して15.1%減少しました。
- ウクライナ軍参謀本部は2022年6月10日午前10時現在のロシア軍の推定総損失を発表しました：人員約31,900人、戦車1409台、装甲戦闘車両（APV）3,450台、砲兵システム712台、多連装ロケットシステム（MLRS）222台、対空戦システム97台、固定翼航空機212台、ヘリコプター178台、軽装甲車2,438台、ボートおよび軽装ボート13台、運用戦術レベルUAV572台、特殊装備54台、移動式短距離弾道ミサイルシステム125台。

すべてのアクションが重要であり、あなたの貢献が小さすぎることはありません！

- 「Kryivka Vilnykh」（自由な人々の避難所）を支援してください。現在、ウクライナ東部の支援に焦点を当てている慈善団体です。銀行口座の詳細は[こちら](#)です。

- ウクライナのメディアによるソーシャルメディアや、このサイトに広めることによって、ウクライナの状況に関する最新情報を共有してください。
- [Twitter](#)と[Webサイト](#)で毎日アップデートを読んでください。
- PayPal経由の寄付で私たちのプロジェクトをサポートすることができます。[詳細](#)はこちらです。

ウクライナをご支援いただきありがとうございます！Slava Ukrainiウクライナに栄光あれ！